

第19回富山地区学校再編検討委員会 会議録

日時 平成23年10月11日(火) 午後7時
会場 富山公民館 講義室
出席委員 21名
欠席 笹生委員、加藤委員
傍聴 1名

1. 開会

2. 委員長あいさつ

検討委員会も第19回を迎えますが、前回まで色々と検討して小中一貫校など富山地区としての方向性が出てきた。今回は、忙しい中専門部会で色々と協議いただいた問題について、統合まであまり期間がありませんが皆さん方に審議していただいて、より良い学校が出来ますように協力していただきたいと思います。

3. 教育長あいさつ

先日のPTAバレーおめでとうございます。次に県大会出場を賭けての大会が近々あると思いますが、是非良い成績あるいは力を発揮してきてもらえればと思います。

10月1日に長狭学園の保護者の方を招いて岩井小学校で小中一貫の説明会を開いていただき大変ありがとうございました。

また、10月4日の地区説明で私共も概ね理解いただいたと言うことで報告させていただきます。委員長からもありましたが4月1日の開校に向けて専門部会の皆様に協議いただいた事を検討委員会で確認し、それを重ねていって4月1日を迎えたいと思います。私共の仕事と致しましては、この前の会議でも指摘がありましたが小学校建設だけではなく、中学校もかなり手を入れたようなものを想定していますので、それについても皆様方からご意見いただければと思っております。

4. 報告

(1) 第18回会議検討結果報告について

質疑等特になし

(2) 小中一貫教育説明会報告について

事務局 10月4日教育委員会主催で富山地区の小中一貫教育実施について説明会を開催しました。地域住民の方々、保護者の方々と色々な意見交換が出来たものと考えております。今後、教育委員会としましては、新校舎建設のスケジュールに合わせて小中一貫教育に対応出来るように中学校施設の改修も含め進めていきたいと考えております。

質疑等特になし

5. 議事

- 事務局 議長委任「傍聴人の入場よろしいでしょうか。」
委員長 許可します。
(傍聴人入場)
- 委員長 第1号「専門部会検討状況及び協議事項について」。最初に専門部会検討状況の報告。
- 通学支援 スクールバスの乗車対象については、平群小地区の生徒のみを対象とし、基本的には既存のバス停を乗降場所とする。
スクールバスの運行台数については、乗車人数の増加に伴い、現在の2台体制では座席数不足のためバス1台の増車を要望しました。
登校時の運行ルート等については、スクールバス3台体制でのルートを決めました。下校時の運行ルートについて、幼稚園でバス1台使用するため、帰りは2台体制となるので、平群行きは幼稚園・低学年の便、中学年・高学年と部活を引退した中学生の便、中学生の部活後の便と3回で考えています。運行の時刻表の作成については、カリキュラムの時間が決定され次第検討に入りたいと思います。夕方の降車について、幼稚園児については降車場所へ保護者のお迎えをお願いすることで決まったが、小学校の低学年や放課後練習後の暗くなってからの降車については色々な案が出ました。最終的には来年度のPTAまた保護者・学校等で決めていただきたいと思います。
- 委員長 通学支援部会について、特に質問は無いようなので細かい部分についてはまだ検討されていくと思いますので、決まり次第報告して下さい。次に学用品部会。
- 学用品 学用品部会では、幼稚園に関する事、小学校の学用品に関する事、学校の集金に関する事の3つに分けて協議してきました。
幼稚園の園児服、通園かばん、学級費について、両園で保護者に説明しアンケートを実施したが、白鳩保育園との幼保一体化の事が決まらない限り進められない状況です。結果が出次第、保護者へ示して決めたいと考えている。
学用品については、例年1月から2月に入学説明会を実施します。資料を作成する上で両校の資料を比べて、在校生が揃えることによりどのような影響があるか考えて、10月7日に会議を開きました。具体的には、給食用ナプキンを使用する。体操服に名札を付ける。上履きは指定しない。算数セットは買わない。色々な道具を入れるのは袋にする。割烹着のことについて、平群小は全児童が購入し個人持ちですが岩井小では個人で持っていません。職員の中では割烹着は個人持ちにする考えでしたが、部会会議の協議では費用負担も増えるとのことで保護者の意見を伺うアンケートを実施して決定することになりました。

学校徴収金については、定額集金で決まりました。また、修学旅行の積み立てについても両校に大きな違いがあるので、割烹着の事と併せてアンケートを実施していきます。

協議事項ですが、1番目の幼稚園の事で保護者は費用負担の事や準備する事があるかと思うので、早く白鳩保育園との協議について結論出してもらいたい。他にはどの案件を検討委員会に提議すればいいのか、私達は誰に相談したらいいのか非常に悩むところでした。

委員長 学用品部会からの報告です。ご意見ありますか。

事務局 幼保一体化について協議状況はどうかと質問があったが、現在白鳩保育園と出来れば一緒に幼保一体のこども園ようなものを作っていくと言うところまでは、両者の考えが纏まっている状況です。その時に大切なのは小学校就学までの乳児から幼児の期間の保育のあり方、幼稚園教育をきちんと施すこと。そこを大切にするという理念については、両者とも同じ考え方と確認は出来ています。この後の校歌校章部会からの園歌についても同様の質問になるかと思いますが、まだ白鳩保育園とはそこまで話が進んでいないのが現状です。来週にも次の協議会を予定していますので、今後は話の流れとしては園をどこの場所にするのか。運営については、公立と私立でどの部分を摺り合わせ、どの部分は直ぐに合意出来るのか。その話が先行せざるを得ないので、質問に対し出来るだけ急ぎたいと思いますが、次回の検討委員会に議題として報告出来ないのが現状です。

委員 それはいつからやるのか。

事務局 来年4月からは今の岩井幼稚園の場所を使って富山幼稚園がスタートします。平群地区の子供は帰りのバスに乗り、平群保育所での預かり保育を行うが岩井幼稚園は行っていません。そこについては、24年スタートの時点で岩井地区の子供についても希望があれば出来ないだろうかと思っています。ですから、幼保一体化に向けて岩井地区の預かり部分を作ろうというのが第1歩で来年4月から行いたいと考えています。

委員 岩井幼稚園でも預かり保育をやるのですか。

事務局 そうです。希望があれば何とか出来る方向で今考えています。

委員 富山幼稚園の場所でやるのですか。

事務局 岩井地区の子供の預かりをやろうと思っています。

委員 平群の子供は、平群保育所で預かり保育を行うのですか。

事務局 預かれるようにしようと思っています。ただ、希望で平群の子供も富山幼稚園が良いとなれば預かれるようにしたいと思う。

また、学童の対象である小学1・2・3年生については白鳩保育園で積極的に受け入れてくれることになっています。しかし、建物を一緒にしていな

い状況では、それ以上の部分に踏み込むのは厳しいかと思われる。そうなる
と次はどこかでこども園として幼保一体の運営をすることになるが、これに
ついては建物の建設あるいは改築が伴い、少なくとも2・3年はかかるかと思
われます。

- 委員 白鳩保育園では岩井地区の幼稚園児の預かりはやらないのですか。
事務局 それはやらない。
委員 学童での預かりはやるのですか。
事務局 学童はやる。
委員 学童は預かるが預かり保育はやらないということですね。
事務局 白鳩保育園では預からない。
委員 岩井地区の園児を平群保育所で預かることは可能ですか。
事務局 可能です。岩井地区の園児の預かり部分がなくて困っているのでは何か出
来る体制を作りたいと思っている。
委員 富山幼稚園を使って預かり保育をやるのですか。
事務局 やりたいと思っているが財政との絡みもあるので100%やりますとは言
えない。
委員 それはいつ頃まで決まるのですか。
事務局 予算の事なので3月議会の議決を受けないと確定ですと申し上げられない。
委員 大体の形はいつ頃分かるのですか。
事務局 大体の予算の方向が見えてくる年内には話が出来るとは思わないかと思う。
委員 岩井幼稚園では現在預かり保育をやっているのですか。
事務局 やっていません。
委員 全くですか。
事務局 はい。市内で全くやっていない唯一の幼稚園だと思います。
委員 白鳩保育園が受けるからお願いするのではなくて、富山幼稚園で預かり保
育は受けるのに学童保育は受けられないのですか。卒園生以外は行きづらい
面もあるかと思う。
事務局 その事について論点を2つに分けて説明します。1点目、学童保育と幼稚
園の預かり保育は対象の年齢も目的も違う。今後、市内全部の学童保育につ
いては、預かり保育とは分離していきたいと考えています。2点目、この富
山地区の学童保育について、平群地区は公設があります。岩井地区について
は、白鳩保育園が前々から積極的に受け入れると承認してくれていますので
新たに公設の学童を作ることを今は考えておりません。
委員 受け入れてもらえることはありがたいが、以前からの説明で幼稚園も保育
園も1つにしていく方向との話で今の答えだと分かりづらい。実際アピール
する中でしっかりしたものを作ってもらいたい。

事務局 幼保一体化の基本形は、0歳児から5歳児の子まで是一緒にまとめて、幼稚園と保育園を1つにすること。小学生は別で考えていきたい。幼保一体のこども園みたいなものが直ぐ出来れば問題は無いが、直ぐに出来ないので当面預かりが出来ない。岩井地区の子供については、何とか預かれる形を作りたいと思っている。元々保育園と言うのは、保育に欠ける家庭の子供を預かるのが保育園ですので、幼稚園の子供を白鳩保育園で預かるのは規定上出来ない。しかし、岩井地区の幼稚園の子供の行き場所が無くて困ってしまうので、こども園が出来るまでの数年の間だけでも富山幼稚園で預かれる仕組みが出来ないか今努力しているところです。

オブザーバー 今公設では健田幼稚園が預かり保育と学童保育をやっている。公設でやるのが一番良いと思う。民間の保育所を頼らなくても公設で出来ることを考えた方が良いと思う。白鳩保育園の学童に行っている岩井幼稚園の子は、やはり馴染めないとか見方が違うとか色々と保護者においては不満があると聞いている。だから、出来れば富山幼稚園でやった方が良いと思う。白鳩保育園があるからお願いするのではなくて公平に運営が出来るように健田幼稚園のようにまず考えるべきだと思う。

委員 私は今の意見とは違う。私の子供は白鳩保育園にお願いしました。白鳩保育園は、長い伝統もあり幼児保育に関しても考えがあるし、子供の健康状態も考えて色々やってきてくれている。幼児教育の本にも白鳩保育園の教育方針が載っていて、遠方の友人からも素晴らしい保育園ねと言われた経験もあります。折角そのような子供を育てる受け入れ態勢があるものを否定する必要は無いと思います。

オブザーバー 否定ではありません。富山全域で白鳩保育園がやっていたことも知っています。ただ、自治体として公設で運営することをまずは第一で考えて、出来ないのであれば民間を頼ることも確かに必要だと思う。旧富山町議会でも平群保育園は要らないと主張する方もいました。しかし、議論を散々して公設保育園は絶対必要だと言うことで残した。民間はいつでも辞めることは出来る。地域を守るために公設は絶対残さないといけないと思う。だから、公設は必要だと私は主張しているわけで白鳩保育園を否定しているわけではない。幼保一体の話の中で平群保育所もいずれは無くなることも視野に入れて議論して欲しいと思います。

教育長 白鳩保育園が預かり保育をやらないのは、保育園としては保育に欠ける子を預かるのが保育園であって幼稚園に行った子供を預かるのは自己否定することになるわけです。ただ、今私共が考えているのは公設を無くすことではなく、幼稚園教育は続けていきながら朝と夕方の預かりも需要があるのでやってみようと言うのが基本的な考え方です。しかし、これを行うこと

により白鳩保育園の存在を否定するような、要するに保育に欠ける子供は保育園にと言うのが今までの考え方だったが、幼稚園の方で朝も夕方も預かることにより幼稚園に通わず親が多くなってきて、それが結果として白鳩保育園を立ち行かなくなるような状態にしてしまうのは、市として本意ではない。今言いました私共が考えている幼稚園あるいは幼稚園の預かり保育のことについて白鳩保育園と話し合いをしております。白鳩保育園との話し合いでどのような形になるか。幼稚園を間に挟んで前後の預かりをやり、公設民営のような形でもお願いすることも方法のひとつと思います。また、白鳩保育園は白鳩保育園の今までの保育、保育園の考え方でやっていくとのことでしたら、私共としては富山地区だけ他地区と違った行政サービスは出来ませんので幼稚園を基本にして朝と夕方の預かり、幼稚園に入る前の0歳児からの保育も他地区と同様にやらなくてはいけないと考えております。もしかすると白鳩保育園がそのまま続いて、一方で市として幼保一体の施設が富山地区には存在する状況も出てくる可能性もある。これは富山地区だけではなく白浜も千倉も同じような状況である。いずれにしろ私共としても白鳩保育園があるからそこに任せますと言う考え方は持っていません。話し合いの中で他地区と同じような幼保一体の行政サービスを出来る道を今協議しているところです。皆さんからしたらまだ結論でないのかとの思いがあるかもしれませんが、話し合いですのでどこで結論が出るのか私共も見当がつかない状況ですので、その点について大変申し訳なく思っております。

- 委員 これから先白鳩保育園と話がつけば、そこが運営することもあるのですか。
- 教育長 あると思います。
- 委員 民間に全部委託する形もあるということですか。
- 教育長 そうですね。経費の面、受ける教育の面などについては、他地区と同じようなものが提供出来るような話し合いは詰めていく。それが前提になってくると思います。
- 委員 全部委託すると公立が無くなる可能性があるということですか
- 教育長 公立は無くなるが実質的には同じ。保育、幼稚園教育は展開される。
- 委員 しかし、その場合は完全な私立でやると言うことですよ。
- 教育長 完全な私立と言えるかどうか。私共と色々な条件面で協議した上での結論になってくると思います。
- 委員 拒否された子供が出た場合はどうするのか。
- 教育長 それは他地区の公立と同じような条件でやっていただく。
- 委員 中学校の敷地に小学校が移設した場合の学童は、白鳩保育園まで歩いて通うのか。
- 事務局 その時の学童保育については、小学校の施設を借りるか施設を作る。白鳩

保育園にお願いするのは校舎が建つまでの2年半くらいの暫定的な話です。

委員 そこで幼稚園の預かりはやはり学童だけですか。

事務局 そうです。

委員長 学用品部会については、今後保護者へアンケート等を行い協議していくとのことです。また決まり次第報告してください。続きましてPTA部会。

PTA 1点目、PTA会則等について岩井小PTA、平群小PTAの会則を参考に原案まで出来上がりました。併せて年会費を3600円とし、小学校は年一括徴収、幼稚園は月額300円の分割と決まりました。

2点目、来年度の事業計画についてもほぼ原案は出来上がりました。富山幼稚園父母の会会則及びベコちゃんクラブも原案を作成してほぼ案として出来上がりました。

委員長 質問ありますか。

委員 平群地区に関しては、PTAの賛助会員費を区で集金していましたが来年度から無くなるのか。

PTA まだ検討課題として残っています。

平群教諭 平群幼小では、1世帯辺り頂くお金とPTA活動にご賛同頂いた地区の方から賛助会費を頂いていた。岩井小では保護者からしか頂いていないと思うが、平群地区では賛助会費を頂いている現状があるのでどうなるのかと言う質問です。

委員 もう無くなると言うことで良いですか。

PTA まだ検討中です。

委員長 他に意見が無いようなので、部会で詳細について検討いただいてまた報告をお願いします。続きまして校歌校章部会。

校歌校章 校歌について、小中一貫校になることを前提に考えて作成したいと思いません。作曲は富山中学校の笹崎先生、作詞は富浦小学校の校歌を作詞した諫川さんを検討しています。

校章については、小中一貫校としての校章を公募します。公募方法や作成までの手順等は白浜小学校の新校章作成を参考にします。幼稚園の園章は、小学校の校章を基に作成する方向で検討しています。幼稚園の園歌を作成したいとの要望が幼稚園の方から出ています。校章の募集要項を事務局から補足として説明をお願いします。

事務局 募集要項の素案を説明。

委員長 校歌校章部会と事務局から説明がありました。何か意見等ありますか。

委員 27年度からも使えるようなものと無駄にはならないと思います。

委員 もし帽子などに校章を入れた場合は、小中学校って言うものだったら入れるのですか。

- 校歌校章 募集要項の趣旨にもあるように中学校でも使用可能な校章デザインの募集を行いますので、岩井校舎使用の3年間だけではなく、一貫教育が始まってからも使えるような校章デザインを考えております。富山小中学校と分かるようなデザインであればいいと思います。
- 同じく校歌についても、一貫教育が始まってからも中学生と歌えるような校歌でお願いしていきます。
- 委員長 校章等は原案でよろしいか。特に意見がなければ校歌校章部会に公募等お願いしたいと思います。次に行事部会。
- 行事 それでは3点。1点目、運動会の時期ですが、今年度岩井小学校・平群小学校・幼稚園も含めて春5月に行いました。来年度も5月下旬で考えております。なお、土曜日に運動会を予定しますと中学校の行事、社会体育の行事も関係してきますので今後詰めていかななくてはならない課題が残っています。
- 2点目、修学旅行と宿泊学習の時期ですが、修学旅行は箱根、宿泊学習は大房と今年度も両校とも秋に実施していますので、来年度も秋を予定し相談していきたいと思います。平群地区の保護者にとっては、人数が増えますので修学旅行代金が安くなると思います。
- 3点目、平成24年4月5日に出会いの会と言うのが今まで統合された学校で行われているが、今から資料を集めて準備した方が良さだろうと話合いました。
- 色々と行事はあるがおよそ同じ時期に同じような行事を行っているので、大きな行事だけを最初に考えました。
- また、これから話し合っていかななくてはならないのが、平群小学校の子供達が岩井小校舎に移ったときの事です。これはまだ話し合いはしていないので個人の考えですが、岩井小校舎に慣れていない子供達がいるので避難訓練、授業参観あるいは引き渡し訓練など行った方が良さかと思っているので話し合いを進めていきたいと思います。
- 委員長 質問など特にないので、部会で色々検討して報告をお願いします。続きましてカリキュラム部会。
- カリキュラム 4月から子供達が困らないで始められるよう、特に困るものとして地域に根差した学習で生活科、総合的な学習が考えられると思われま。生活科について、案は作成されています。総合的な学習についても、現在摺り合わせを行っています。先程、通学支援部会から運行時刻表作成のためカリキュラムの質問がありましたが、英語との兼ね合いで問題があります。御存知のとおり、岩井小学校・平群小学校・富山中学校の3校でGELと言うものを公開してきました。こちらの方で1年生から6年生まで英語のカリキュラムを作成してあります。そのカリキュラムを生かすかこれから検討していかなく

てはいけないことが1つあります。4年生以上の授業日数が全て同じ中で、5年生6年生は授業の中で英語がありますが、1年から4年については授業の中で英語の時間が正式にはありません。そうすると4年生だけ帰る時刻が変わっていくことがあります。そこをどうやっていくか、いくつか案が出来上がってきていますので、岩井小平群小の管理職の先生方と相談し決めていこうと思っております。

委員長 質問等ありますか。

委員 G E L 研究とは何ですか。

カリキュラム 1年生から中学生までの9年間、英語を勉強していきましょう。外国語に慣れていきましょうと言うことで学習の方を進めてきました。

委員 そういう研究があるということですか。

カリキュラム そういう研究をしてきた。研究してきて良いものは残していきたいと考えている。

教育長 その前の学校行事も同じですが、特にこのカリキュラム部会については、他の部会とは意味合いが少し違います。他の専門部会では、色々と議論したことを再編検討委員会で最終的に決定していく段取りを踏むわけですが、富山小学校のカリキュラムに関しては、ここでの意見を参考にして最終的には校長が決めていくものと理解いただきたいと思います。

また、G E L の関係ですが今5年生6年生が小学校で英語活動やることは新しい学習指導要領で決まっていますが、それ以前に小学校での英語はどのようにしたら良いか千葉県から指定を受けて研究してきました。自主的に1年生からやってきたことは、この地区の英語研究の実績です。この前、岩井小学校で申し上げたのは1年生から英語をやってきて、明らかに効果が出ているのなら継続すればいいし、反対に1年生からやることにより英語嫌いが非常に多くなった、先生方の負担感が非常に大きい、あるいは本来の日本語の指導が徹底していかないなどの色々な問題が考えられるが、先進的に研究してきたのだから結果についても検討していく必要がある。効果が見られないのなら1年生から4年生の英語は止めて、他の地区と合わせて5年生6年生から始めるのも1つの方法ではないですかと話してあります。これは来年4月1日に向けて結論出せなくて継続的な課題になっても構わないですが、富山小学校のカリキュラムを決めていく上では1つの課題になってきていると思いますので、皆さんにも理解していただきたいと思います。

委員長 他にありますか。

通学支援 細かい内容はいいですが、始業時間等はいつ頃決まりますか。

平群校長 バスでの送迎の関係で5時間目が何時に終わるのか依頼を受けていました。始業時刻を校長の立場で検討しなければいけないので高木校長先生と相談

しまして8時にしました。そうすると5時間目が終わってバスに乗れるのが2時50分、それに従って6時間目あるいは放課後練習をやったら何時くらいに出せるのかを順次決めてもらえればありがたいと思います。

通学支援
平群校長
通学支援
岩井校長

8時は始まりの時間ですか。それとも学校へ入る時間ですか。

始まりの時間です。

登校は7時50分くらいですか。

そうですね。8時から朝の活動が各学級で始められるためには10分前くらいに入ってもらいたい。

通学支援

そうすると先に中学生を降ろすので中学生の登校時間は凄く早くなり、出発の時間も凄く早くなると思う。平群の子はかなり待つことになると思う。何時に始まり何時に終わるのが分かると中学生を先に降ろしてのバスの運行表が考えられる。そうすると小学校から引き返して次の幼稚園の迎えの時間がどれくらいになるのか決まってくるので早めに分かれば知りたい。

カリキュラム

何曜日に何学年が早く帰るなどもですよね。

通学支援
事務局

そうですね。細かくは出せないと思うが早めに分かれば知りたい。

幼稚園と小学生と中学生、朝について大きく3グループになると思います。

通学支援

幼稚園は別です。小学生と中学生を送り、引き返して幼稚園児を迎えに行きます。

事務局

登校時のその3グループが、帰りは更に小学校の低学年と高学年を分離しなくてはいけないなど難しい状況、無理な状況が出てくるかと思うが、どのようなことが考えられるか出来るだけ早く言っていただいた方が良い。

通学支援

良いとはどういう意味ですか。

事務局

乗り切れない。または時間的に無理があるなど。

通学支援

乗り切れない事はないが時間の問題は、登校時のルートは3台体制3ルートで行けますが、帰りは1台岩井地区の幼稚園児に回します。平群行きは2台しか無いので朝よりも時間がかかってしまう子供が出てきてしまうことになると思います。その後の3・4年生とは1限しか違いは無いので、その間に帰ってきて支度をするにはなりません。

事務局

そうすると運転手の休憩の問題などが出てくると思う。特に朝よりも帰りの方が厳しいと思われる中で、トミー号の利活用や他の地区のスクールバスを夕方だけ回すことも可能かもしれないので、要望を早めに教育総務課へ相談してください。

通学支援

部会で集まった時には、3台体制でどう回すか無理して組んだ。そこを考えると状況としてはかなり厳しい。もう1台を回していただけると少しゆとりは出てくる。幼稚園と小中学生を完全に分けて考えることも可能になってくると思う。

事務局 紙の上では運行可能だったが運転手の休憩を入れたら、折角出来上がった運行表が駄目になったことが以前ありました。

通学支援 要望を出せば可能になりますか。

事務局 3台で無理に組んで紙の上で出来ても実際運行が出来なければ困るので、例えば、もう一台あればこんなことも可能になるなど、その要望に全て答えられるわけではありませんが提案していただきたいと思います。

通学支援 便の間は1限しか差がないので全体的に子供達は待つことにはなると思います。一番ありがたいのは、10人ずつ乗せての3台体制ですが希望を出せば切りが無い。

事務局 出来る、出来ないは答えますので要望していただきたいと思います。

委員長 以上で部会の報告は終わります。続きまして、「検討スケジュール及び次回会議開催日程について」をお願いします。

事務局 専門部会である程度のまとまりが見られると思われまして12月後半の開催を予定したいと思います。

委員長 12月中旬でいかがですか。

通学支援 幼稚園の入園説明会に間に合いますか。スクールバスの事をそれまでに決定してなくて大丈夫ですか。

事務局 前回は話題が出たかと思うが、白浜・富浦地区の場合には大まかな運行経路等は早いアナウンスは出来ましたが、実際の運行時刻表は2月くらいにならないと確定しない部分がありました。その辺は保護者の方にご理解をいただきながら説明していただきたいと思います。

通学支援 保護者がどこに入れようか悩んでいるは、それがネックで選べていないと思います。

事務局 この時間帯に送迎のバスが出ますと言うような説明で、どこのバス停何分との細かい説明は厳しいかと思います。

委員長 日程は決まり次第お知らせします。ご審議ありがとうございました。

傍聴人退席

委員長 「その他」事務局お願いします。

事務局 事務局からはありません。

委員 小中一貫校の決定の時期はいつ頃ですか。

事務局 先日の説明会を持ちまして概ねの理解を得られたと私共は考えておりますので先日の説明会をもって決定と考えております。

委員 もう決定と言うことでよろしいでしょうか。

事務局 先日の合意を踏まえて今後の事業に取り組んでいこうと考えております。

委員 今の質問の関連ですが、先日の説明会も傍聴しましたが今の質問と同じ考えです。あの場だけで皆さんの理解を得られたとは思いません。内容はこの

検討委員会に参加していますので分かります。ただ、検討委員会など全然携わっていないとして初めて行ったとします。あの場の討論を聞いた限りでは概ね理解が得られ小中一貫で決定とは解釈出来ません。今度は説明会ではなく、小中一貫で決定した報告会を持たなくてはいけないと感じました。

教育長 説明会の中でも小中一貫は制度的なものだと言う意見もありましたが、例えば学校の統廃合は、設置条例に係わることでありますので手続きを取らなくてはいけない内容なもので、小中一貫で教育していくことは制度的なもので法的なものはないです。先日の話し合いですが私共の考えとしましては、小中一貫に対する意見と言うよりも再編も含めた会議の進め方について色々意見をいただいたと思っています。小中一貫について明確な反対は無かったと感じています。それまでに3校のPTA、保護者の方にも色々ご苦労いただきましたが、小中一貫でよろしいだろうという方が大半を占めている。この再編検討委員会でも、それを踏まえてその方向でよろしいでしょうと言うご意見をいただいたかと思います。ただ、再編検討委員会で地区への説明はしてくださいと要望があったかと思いますが、そのような説明会を開催したと私共は理解しております。多くの意見をいただきましたが途中で小中一貫について色々話を聞くために来たとの意見以降は小中一貫について協議がされて概ね理解いただいたと考えております。

委員 結論は法律に無いからどうでもいいと言う事ですか。

教育長 どうでもいいと言う事ではなく、この会議でも協議重ねてきましたし、各学校の保護者会でも説明あるいはご意見をいただいて小中一貫でよろしいだろうとの事で方向性をいただいていますので、私共としてはそれに従ってやっていくと言う事で考えております。

委員 皆さんの意見とは関係なくやっていくと言う事ですか。

教育長 皆さんの意見の大多数が小中一貫でよろしいとの事なので、それに従ってやっていくと言う事です。説明会の終盤に小中一貫に伴い小学校は新築、中学校も改築改修はするのかと意見がありましたが、正にあの質問は小中一貫をその会全体で承認した上での発言だと思います。私も小中一貫を承認いただけたと受け止めて、中学校の方の校舎も改修していくとお答えしました。

委員 私達は地区に帰ればどうなったのか聞かれるが答えられない。決定なら決定ではっきり示してくれれば私達も説明が出来る。

教育長 決まったと言っていたかと思いますが、私共も小中一貫でやっていくと市の広報などで周知していきたいと思っています。

委員 それでは決定でよろしいですか。

教育長 はい。

委員 特例債があるうちに方向付けをして進めていかないと学校建設は困難にな

ってしまう。地域にとっては少し説明不足なところがあったかもしれないが、大きなものを施行していくには仕方無いと思います。地域にしっかりしたものが出来る、また将来的に別々であるよりも1つになった施設が残ると言う事であれば、それはひとつの流れだと思う。

教育長 説明会での質問の中で、PTAの出席率や賛成者の割合など、私からすれば役員の方々に極めて失礼な質問も出ましたが、それに対して3校の会長さん方が大半の方達が小中一貫で行こうとしていると答えてくださいました。その回答でその方々には理解していただけたと考えています。再編検討委員会として、もう一回丁寧にやれと言う事でしたらやらなくてはいけないと思います。ただそうなるも先程も話がありましたが校舎建設が遅れ必要な補助金が付かなくなります。補助金がいただける前提で小学校あるいは中学校の校舎建設を進めているわけですが、ここで皆さんの相違でもう一度丁寧に地区へ説明会をすることになりますと校舎建設を白紙に戻し、新たな財政的なものの裏づけを見つけて仕切り直しでやっていくことになります。私共はそのような事がないように非常に後ろが限られている中で可能な限り説明は重ねてきていますし、この会議でも小中一貫でよろしいと了解していただいたと考えています。

委員長 前回検討委員会の中では小中一貫でいくと話が決まり、後は市から市民の方へ説明会をやるとのことでしたので、区長さん方も住民の方から聞かれた場合は今まで話し合いをした結果小中一貫校で進めていくことに決まりましたとお話していただいて結構だと思います。

委員 最終的な決定が分かれば地区住民にも話が出来ると思います。

委員 私は最初から会議に出ています。唐突に一貫校なのかとの批判も説明会でありましたが、富山小学校になることは決まり、場所は色んな検討を重ねてきて富山中学校の敷地を利用することに決まった中で結果的に一貫校みたいな形で進めていくことになったと思う。いきなり一貫校が出てきたとは私自身は受け止めていなくて、場所も統合することも決まっています。新しい学校を造って欲しいと言うのは皆さんの要望ですので、その中でもう決まったと共通認識を皆で持つしかないと思います。

委員 前役員からの引継ぎの中ではそういう話は一切ありませんでした。

委員 最初は確かに統合したから新しく校舎を建てるのは止めましょうとの説明で、まず子供達のために統合するのかの協議から始まりました。まず合併がやると決まり、校舎の耐力度調査を行ったら補助対象になると、補助対象になるなら新築しましょうと、場所は特例債などを考えると新しく土地を買う時間は無いので富山中の敷地に建てましょうと、小中一貫校だと中学校の今の施設も改修出来るなど色んなお金の使い方もあって、もちろん小中一貫校

が良いとのことでゴールが決まったのだが、最後のところが急にそうなったのではとされているのかも知れませんが一応全てこの会議で図って来ているので急に小中一貫校になったわけではないと思います。

委員 言っていることは分かります。ただ、小中一貫で色々検討したことは初めて聞きました。

委員 小中一貫の話は今年度皆さんが役員になってからの話です。昨年までは小学校を一緒にしよう、校舎は中学の敷地に建てようと言うところまでです。今年度になって小中一貫が提案され皆で決めました。

委員 そうですね。4月以降に小中一貫校が提案されて、前回第18回の会議で小中一貫校の方向で決めましたよね。そうであれば区長会としては、細かい流れも含めて回覧で周知して欲しい。

委員長 市の方で広報または回覧板で周知していただければと思います。

閉会